

平成30年度 学校教育自己診断・教職員結果

回収率:150/150(100%)

I、教育活動に関するもの

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

	診断内容	A+B	C+D	E
1	教職員は児童・生徒の障がいについてよく理解している。	85.5	10.5	3.9
2	教職員は児童・生徒の意見をよく聞いている。	94	5.3	0.7
3	学校・担任は保護者の質問や相談に適切に対応している。	96	2.6	1.3
4	各授業において、児童・生徒の実態に則した指導内容や指導方法(ICT機器の活用等)の工夫・改善を行っている。	90	9.3	0.7
5	教育活動(指導内容等)について、教職員間で日常的に話し合いがもたれている。	90.7	7.9	1.3
6	児童・生徒の障がい特性を踏まえた、生徒(生活)指導を行っている。	92.8	4.6	2.6
7	児童・生徒は、学級担任以外の教職員にも相談することができる。	80.2	11.8	7.9
8	児童・生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい進路指導を行っている。	79.6	11.2	9.2
9	学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	84.9	11.8	3.3
10	いじめ防止等、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導を行っている。	88.8	7.9	3.3
11	いじめや人権に関わる事象に対して、迅速に対応するための体制が整っている。	84.8	7.9	7.2
12	教育全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	84.2	12.5	3.3

II、学校運営に関するもの

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからな (%)

	診断内容	A+B	C+D	E
13	施設や設備は、児童生徒の安全に十分配慮され、適切に整備されている。	20.5	74.8	4.6
14	児童・生徒の学習に必要な備品や教材・教具が適切に準備されている。	37.8	59.6	2.6
15	校務や教材作成、個人情報の集積と保護に関して十分な情報システムと情報機器が備えられている。	60.9	32.5	6.6
16	学校・担任は教育活動に必要な情報について、児童・生徒・保護者や地域への発信に努めている。	72.2	20.5	7.3
17	個別の教育支援計画ならびに個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成している。	94.1	5.9	0
18	校内研修は、計画的に実施され、教育実践に役立つような内容となっている。	76.1	21.2	2.6
19	学校運営において、教職員の意見が反映されている。	30.2	61.7	8.1
20	学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	92	7.4	0.7
21	緊急時(救急・災害・事故・犯罪など)の体制が整えられ、危機管理がなされている。	59.8	37.6	2.7
22	学校は、医療、福祉、地域、その他の関係機関と連携して、児童・生徒の支援を進めている。	79.8	16.7	3.4
23	学校は、教育活動全般について、児童・生徒や保護者の願いによく応えている。	83.9	12	4